



伝統行事『えいしんまつり』開催!!

12月1日(木) 盈進小学校の大きな行事の一つである『えいしんまつり』を開催しました。30年以上も続くこの伝統行事を通して、

◇礼儀正しく真心をもって人と接する子ども

◇多くの人からの支えに感謝することができる子ども

◇同じ目標に向かって協力して活動する子ども

を育てたいと考えています。コロナ感染症対策により、参加者を限定せざるを得ませんでした。それでも保護者・地域の方々を含め、総勢150名以上の大イベントとなりました。

とみえ認定こども園年長さんとの交流

1・2年生は、とみえ認定こども園の年長さん園児19名と『ふれあい遊び』の交流です。生活科の時間などを使ってゴトゴトぐるま、ゴムロケット、びっくりカエルなどのおもちゃを作ったり、遊び方の説明などを練習したりして、園児のみんなが楽しんでくれるよう準備を進めていました。また、「やさしくしてあげたい」「えがおではなしたい」「きちんとせつめいする」など一人一人がしっかりしためあてをもって取り組みました。2年生の中には、「おしえるのってむずかしいね。」と話す子どももいましたが、園児のみんなが思った以上に楽しく遊んでくれる姿を見て、大満足の1・2年生でした。1年生は、「もっとおしえるのがじょうずになりたい!」と、来年のふれあい遊びへ向け気持ちが高まっていました。



老人会の方々との交流

3・4年生は、山下・黒瀬地区の老人会の方々と『ペタンク』での交流です。12月に入った途端に気温が下がり、風も冷たいことから運動場での実施が危ぶまれました。しかし、「よかったい。外でやるじゃん!」という元気な『大先輩』に子ども達も負けられないと予定通りで進めました。

子ども達と老人会の方が組むというチーム構成でした。子ども達も上手に投げていたのですが、チームを引っ張るのは、やはり『大先輩』でした。途中からは、「エース、なんとかしてください!」と大先輩にお願いする子どもも。失敗が続いた子どもに「手首はこうして投げればよかよ。」と教えてくださったり、悔しがる子どもに「負けてもよかじゃん。楽しくやるや。」と声をかけてくださったり、たくさんのお話を学ばせていただいた3・4年生でした。



そばづくり

この行事のメインは、やっぱり5・6年生のそば作りです。地域の伝統食である「山下そば」を普段からお世話になっている方々へ振る舞います。そばの種播きから始め、草取りなどのお世話をしながら収穫していくというのが本来の活動ですが、以前の学校だよりでお知らせした通り、台風のいたずらにより叶いませんでした。それでも、当日のそば作りができるのは、地域の方々の協力があったからこそです。



前日は、「そばづくりの名人達」をお招きして、練りの作業を教わりました。お母さん方にもサポートしていただきながら、サラサラのそば粉が一つの大きなボール型に変わっていきます。入れていく水の量に気を遣いながら、ゆっくりと作業を進めていきました。そして、だんだんと難しくなっていく作業に「うまくまとまらない」「かたくて押せない」などの声が漏れます。それでも子ども達は粘り強く頑張り、明日への準備は整いました。

まつり当日は延ばしと切りの作業です。この日もたくさんの名人に教わりながら、親子で作業を進めていきます。「いや、そがんしたら…」と、我が子のおぼつかない手つきをそわそわしながら見守るお母さん達。「なかなか丸く広がらない…」「細く切るのって難しいね」「包丁がずれるう…」などなど、あちらこちらで悪戦苦闘。でも中には、「毎年、家でやってるから」と慣れた手つきで淡々と進める女の子もいました。

切ってしまうとこっちのもの。ゆでは、お父さんお母さんにまかせて…。はい、できあがり！（しかし、実はゆで係の方も悪戦苦闘であった…らしい…です。）できあがったそばは200食以上。残念ながら一堂に会して頂くことはできませんでしたが、みんなで協力して作ったそばは、何とも言えないおいしさでした。

5・6年生は、こんな感想を残しています。

「みんなでやるときには、自分から進んで行動したい」

「自分の仕事には責任を持ってやりたい」

「感謝の気持ちを忘れず過ごしていきたい」



この行事には、何日もかけてたくさんの準備が必要です。私たちが、「これで大丈夫。」と

思っている、当日になるとうまいかない…なんてこともあります。しかし、いろんなハプニングにも動ぜず、誰かが仕切り、みんなが率先して協力し、いつのまにか乗り切っている…。なぜか盈進小学校には、そのような保護者や地域の方が存在するのです。

私はこの日、ニコニコしながら焼き芋を頼張っていただけでした。そば作りに関して積極的にサポートしていただいた新井PTA会長さんやJA青年部の方々、地域の食文化を伝えていただいた山下地区の方々、ふれあいの大切さを感じさせてくださった老人会やこども園のみなさん、大イベントを守ってくださった保護者のみなさん、そして、この大仕事に対して全力で準備してきた我が校の子ども達と職員に対して深く深く感謝いたします。

来年は、もっとたくさんの方々に「えいしんまつり」の楽しさとそばのおいしさを味わっていただけるよう願っています。